

## 『絵本の習慣』



子どもに絵本を読み聞かせることは、子どもの成長においてとても大切です。絵本は子どもにとって、文字や言葉の発達を促すだけでなく、心の成長・発達のために欠かせない存在だと言われています。親が子どもに絵本を読んであげる「読み聞かせ」には様々なメリットがあります。

### ① 親子でコミュニケーションがとれる

子どもを膝の上に乗せたり、近い距離で本を読んだりすることで、親子の親密度が高まり、信頼関係が強くなります。また、絵本を読んでもらうことで、親の愛情を感じ、子どもの自己肯定感も得られるでしょう。

### ② 感性を豊かにする

絵本の読み聞かせを通して、子どもは登場人物の行動や心情を自分のことのように疑似体験したり、登場人物になりきって嬉しさや悲しさ、痛みなど様々な感情に触れ、他人の感情や思いを知ることができます。これらの経験は、豊かな感性や想像力を身につけて社会の中で生きる力の基礎を育みます。

### ③ 語彙力を伸ばす

絵本の中の様々な言葉に触れることは、語彙力や言語能力を身につけ、読解力やコミュニケーション能力の向上にもつながるでしょう。

絵本の読み聞かせは、習慣化すると良いでしょう。読み聞かせを習慣化することは、子ども自身の読書の習慣につながります。

例えば…

- 寝る前などの決まった時間に絵本を読んであげる。
- 子どもが絵本に触れる機会を増やす。  
→子どもの手に取りやすい場所に本棚を置くと、子どもが興味を持ちやすい。



絵本を読むのが義務になると辛いし、長続きしません。短い絵本から始めたり、時には自分が読みたい本を選ぶなど、親自身も絵本の世界を楽しんでみてください。

時にはスマートフォンやタブレットを置いて、紙の本を読んでみませんか？